



Ver. 3.00

自動送出装置 SWB-06H / SWB-0610H

操作説明書

SWB-06H / SWB-0610H Ver.3.00 操作説明

目次

VTR 本体の設定	——1
PDW-F70(F75),PDW-1500	1
DSR-20,DSR-45	1
9 ピンコントロール系の VTR (BVW,PVW,UVW シリーズ等)	1
UVW-1200,UVW-1400	1
電源 ON/OFF	——1
キー操作について	1
基本的な動作の説明	2
AV セレクター	2
画面説明	3
V T R バンクデータ入力	——4
タイムテーブルデータ入力	5
タイムテーブルの編集	9
カーソル移動	9
挿入、削除	9
WEEK,TIME フィールド再計算	9
СОРҮ	10
自動計算機能について	11
タイムテーブルエラーデータ表示	11
1.VTR の整合性が失われる場合	11
2 . 時刻の整合性が失われる場合	12
タイムテーブル入力を終了する	12
実行	
タイムテーブルの1行目をタイマーセットしてその時刻からスケジューラを実行する。	13
タイムテーブルの任意の行からすぐに実行する。	13
現在時刻の設定、変更	——15
送出装置から VTR を手動でコントロール	——16
初期設定(OPTION) ————————————————————————————————————	——17
VTR & SWITCHING TIMING SET	17
POWER CONTROL SET	18
AUDIO GAIN SET	19
AUDIO MODE SET (変調器制御モード設定) AUDIO MODE SET (変調器制御モード設定)	19
OPTION SETUP (その他の動作モード設定)	20
1. WEEK INPUT ON / OFF	20
2. NO VIDEO JUMP NEXT / AUX2 / NOTHING	20

SWB-06H / SWB-0610H Ver.3.00 操作説明

3. TAPE END TIMER / TC	20
4. ERASE WEEKTIME Erase / NOT Erase	20
5. NEXT TIME CALC ON / OFF	21
AVSW SELECT	21
EXT AVSW Input Assign	22
EXT AVSW Output Assign	22
AUX AVSW Input Assign	23
AUX AVSW Output Assign	23
データクリア(CLEAR)	23
緊急入力端子 ————————————————————————————————————	24
その他の機能	24
VTR にテープを挿入すると自動的に頭出しを行う。	24
機器の接続	25
SWB-06H	25
SWB-0610H	26
注意事項	27
頭出しエラーについて	27
強制実行(NRUN)での注意	27
プリントアウトメニューと CLEAR メニュー	27
タイムコードについて	27
タイムテーブル参考例	28
WEEK について	
TIMER モードか T/C モード(初期設定-OPTION – TAPEEND)について	
TIMER モードと T/C モードの特徴について	
タイムテーブルの記述の仕方による動作の違い	
タイマーモードの場合	
1.タイムテーブルの VTR-B フィールドを空白にするか END にしたとき	
2 . タイムテーブルの VTR-B フィールドを REPT にしたとき	
T/C モードの場合	
1.タイムテーブルの VTR-B フィールドを空白にするか END にしたとき	
2 . タイムテーブルの VTR-B フィールドを REPT にしたとき	
タイムテーブルに複数のスケジュールを記述し、実行する。	

LOGIX

VTR本体の設定

VTRのメニュー、操作スイッチを次のようにします。 PDW-F70(75), PDW-1500 【スイッチ】REMOTE/LOCAL: REMOTE 他は工場出荷時状態

DSR-20, DSR-45

【メニュー】RS-232C BAUD RATE: 19200BPS 【メニュー】CLOCK SET で時刻を合わせる 【スイッチ】REMOTE/LOCAL: REMOTE 他は工場出荷時状態

9ピンコントロール系のVTR 【メニュー】STILL TIMER: 10秒以上 【スイッチ】REMOTE/LOCAL: REMOTE 工場出荷時状態

UVW-1200

【メニュー】RS-232C bps : 38400BPS 【スイッチ】REMOTE/LOCAL : REMOTE 他は工場出荷時状態

【スイッチ】REMOTE/LOCALはVTRフロントパネルの操作を行うときはLOC ALにする必要があります。(LOCAL-ENABLE設定がENABLEにされている項目 は除きます。)

電源ON/OFF

MAIN POWER のキースイッチを右に90度回転することによって電源が入ります。 キーは、どのポジションでも引き抜くことができます。

キー操作について

キー操作ではあるキーを押しながら別のキーを押す操作があります。たとえば、 コントロールキーを押しながら、数字の1キーを押す場合は下記のように記述します



基本的な動作の説明

- 1.接続された機器に合わせて初期設定を行います。この作業は導入時に行います。
- 2.送出デッキににセットする番組のタイムコード(番組の開始点、終了点)をVTRバンク に入力します。
- 3. タイムテーブル(スケジュール)を入力します。
- 4.実行を開始します。

(注意)

タイムテーブル(スケジュール)を入力する前に必ずタイムコードデータ(VTRバンク)を 入力して下さい。タイムテーブル入力時、VTRバンクに入力されたタイムコードデータを基 に次のイベントの開始時刻を計算します。タイムコードデータが入力されてないとタイムテー ブルを入力できません。

タイムテーブル入力後にVTRバンクのタイムコードデータを変更した場合はそのままではタ イムテーブルに反映されません。この場合は次の方法でタイムテーブルに反映することができ ます。 【参照項目】 タイムテーブル編集 - WEEK,TIMEフィールド計算

AV セレクター



画面説明



タイムテーブル

タイムテーブル入力時、コピーを行うときに表示されるコピー範囲のデータ EMG入力の有効 / 無効状態と, EMG入力の状態を表示する

操作モードの表示

現在時刻の表示

次に起動がかかる時刻の表示

VTRバンクを設定、表示するウィンドウ

VTRの動作状態、動作タイムコード、次に実行予定のタイムコードを表示する

エラーが発生したときにその内容を表示する。

タイマーで起動がかかった場合、切り替わるまでの残り時間を表示する

タイムテーブル入力時、次の時刻計算を行うときの計算行を表示する

次に実行予定のVTRバンク番号を表示する。

VTRの現在の動作状態を表示する。

VTRの現在のタイムコードを表示する。電源が入っていないものは表示しない。

次に実行予定のVTRバンクデータ。番組始めのタイムコード。

次に実行予定のVTRバンクデータ。番組終わりのタイムコード。

VTRの設定が【XDCAM】の場合、現在の現在のクリップ番号をを表示する。電源が入っていない場合や【XDCAM】ではない場合は表示しない。

VTRの設定が【XDCAM】の場合、次に実行予定のクリップ番号を表示。

VTRバンクデータ入力

タイムテーブル入力や編集の前にVTRバンクの設定が必要です。 ここではテープやディスクに記録された番組の初め【TOP T/C】(IN点)と 終わり【END T/C】(OUT点)のタイム コードを入力します。 1本のテープやディスクにつき、最大9番組の設定が可能です。



rVTR-B	CLIP	- Top T/C	END T/C
V01-1	0012	00:01:00:00	00:31:00:00
V01-2	0013	00:35:00:00	00:50:00:00
V01-3			
V01-4			
V01-5			
V01-6			
V01-7			
V01-8			
V01-9			

タイムコードデータを数字キーで入力します。 【XDCAM】の場合はCLIP番号も入力します。 コロン[:] を入力する必要はありません。 入力は電卓などと同じです。カーソルを違う エリアに動かすと、その後の最初の数値入力 時に0にクリアされます。また【0】を続けて 入力すると0クリアすることになります。



を押すとその入力フィールドをクリアできます。

VTRの番号を変えるときはセレクタのモニターキー1 - 6を押してください。

	SELECTOR							
			— V1	ΓR —		_	FAL	JX n
	1	2	3	4	5	6	1	2
POWER								
PROGRAM								
MONITOR								



VTRバンク入力ボックスがピンクに変わり水色のカー ソルが表れます。このカーソルは矢印キーで移動します

TABLE	CLEAR	N RUN	RUN
1	2	3	ENTER
MON	TUE	WED	END
T/C BANK	PRINT	CLOCK	
4	5	6	
THU	FRI	SAT	
HOME 7 SUN	втм 8	EMG 9 REPT	ÛÛ Û
CONT	SETUP 0 OFF	DEL	INS 🕆

ターキー1-6を押してください。

モニター1を押すとVTR1の入力画面に モニター3を押すとVTR3の入力画面に なります。

VTRバンクデータ入力を終了するときは



LOGIX

タイムテーブルデータ入力

タイムテーブル入力では番組の開始時刻、VTRバンク番号、変調器制御コードの入力をします。

設定により、週データを入力しないモードにすることもできます。VTRバンク番号はあらか じめ入力したVTRバンクデータに基づき入力します。変調器制御コードはあらかじめ設定し たデフォルト値が自動的に表示されます。

まず、NORMAL MODEから



TIME TABLE

TIME

No. Week

0001

0002

0004

0005 0006 0007

0008

0010 0011 VTR-B MOD



タイムテーブルの Week のところに赤いカーソルが 表れます。このカーソルは左右の矢印キーで動かすこ とができます。上下はデータが入力されている範囲内 しか動かすことができません。一番最初は下側への移 動はできません。

ここに入力するデータは開始したい番組の週のデータ です。月曜から、日曜までのデータを次のキーで入力 します。1キーを押すと次のように表され、カーソル はTIMEのところに移動します。

TIME TABLE									
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD					
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON	∎::: 							

CLEAR TABLE N RUN RUN 2 ENTER 1 3 TUE WED END MON T/C BANK PRINT CLOCK û 5 6 4 ម ម THU FRI SAT HOME BTM EMG Û 9 7 8 ŶΫ SUN REPT SETUP DEL INS CONT 0 <⊐ ⇒ OFF

番組の開始時刻を1-0キーで入力します。

TABLE 1 MON	CLEAR 2 TUE	N RUN 3 WED	RUN ENTER END	
Г/С ВАNK 4 ТНU	PRINT 5 FRI	CLOCK 6 SAT		
HOME 7 SUN	втм 8	EMG 9 REPT	ŶŶ	
CONT	SETUP 0 OFF	DEL J		

ここでは'10:00:00'と入力してみましょう。

		N		7 r		11				1 1		/
	TABLE		SETUP		SETUP		SETUP		SETUP		SETUP	
	1		0		0		0		0		0	
	MON		OFF		OFF		OFF		OFF		OFF	ĺ
Ľ		Ľ		3 6				3 6		3 6		_

と続けて押します。 コロンは自動的に表示されます。

TIME TABLE									
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD					
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON	10:00:00							

カーソルは VTR-B に移動します。 入力したデータを変更するときは矢印キーでカ ーソルを移動し、再度正しいデータを入力しま す。

TIME TABLE									
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD					
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON	10:00:00	V02 -						

ここでは放送する番組のVTRバンク番号もしく は外部入力番号をを指定します。ここでは VTR2-1 を例として入力しますまず、 VTRの番号の2を 押します。



左図のように VTR 番号が表示され、同時に VT Rバンク表示ボックスが VTR2 のデータを表示し ます。この中から放送するバンクを選択しその番 号を入力します。ここでは1キーを押します。も しバンクデータが存在しない番号を入力した時は アラームがなり再度入力をする必要があります。

TIME TABLE									
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD					
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON	10:00:00	V02 <mark>-</mark>						

	VTR-B V02-1 V02-2 V02-3 V02-4 V02-5 V02-6 V02-7 V02-8 V02-9	CL IP 0012 0013	- Top T/C 00:01:00 00:35:00):00):00	END 00:31 00:50	T/C :00:00 :00:00			
▲									
ここでバンク番号の TABLE を押します									

左図のように番号が入力され、MOD の位置には M と表示されます。これは変調器制御をモノラルにするという意味で、このデータは OPTION で設定されたものが自動的に表示されます。表示されたものと違う設定にする場合は、カーソルを MOD フィールドに移動し次のキーを押します。



バンク番号を入力した時点で、2行目の週、TIME は緑 色で表示されます。これは VTR バンクに入力されたデ ータから番組の長さと、次の開始時刻が計算されたもの です。このように2行目以降は VTR バンクデータを入 力すると次の時刻データは入力する必要がなくなりま す。ただし、AUXやVTRをAUXとして設定した場 合は VTR バンクデータがありませんので、次の時刻の 計算はできないため、カーソルが Week フィールドに移 動し、そのデータを入力する必要があります。Week, TIME フィールドの色は自動計算されたところが緑色、 手動入力したところが黄色となります。 VTR-B フィールドで入力できるキーを下記に示します。

TIME TABLE						
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD		
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON	10:00:00 10:30:00	V02–1			

TIME TABLE					
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD	
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON MON	10:00:00 10:30:00	V02-1	M	

I	IME	TABL	Ę
) ok	т	THE	V

No.	Week	TIME	VTR-B	MOD
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON MON MON	10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:00:00	V02-1 V03-1 V04-1 AUX1	8888

TABLE	CLEAR	N RUN	RUN
1	2	3	ENTER
MON	TUE	WED	END
T/C BANK	PRINT	CLOCK	
4	5	6	
THU	FRI	SAT	
HOME 7 SUN	BTM 8	EMG 9 REPT	ŶŶ
CONT	SETUP 0 OFF	DEL	



VTR1 から VTR6 の入力 ができます。

AUX を入力する場合(SWB-06H)

7で AUX1 8で AUX2

AUX を入力する場合(SWB-0610H)

AUX1-AUX10 を入力するには 2 ストロークになりま す。まず AUX を入力するために

HOME	BTM
7 SUN	8
/	

のどちらかのキーを押します。 続けて数字キー[1]-[0]で AUX の番号 を指定します。

(例)

AUX1 の場合 [7][1]と続けて入力します。 AUX8 の場合 [7][8]と続けて入力します。 AUX10 の場合 [7][0]と続けて入力します。

REPT / OFF / END を入力する場合



で OFF

で END を入力します

でREPT(リピート)

タイムテーブルの編集

一度入力したデータを何度も繰り返し入力しなくてよいように編集機能があります。

カーソル移動





-С

7 SUN

8

これれのキーを押すとカーソルが移動します。 上下のキーは押し続けるとリピートが働き、スクロール することができます。

CONT キーと上下キーを同時に押すと100行ずつス クロールします。

カーソルが1行目に移動します。

カーソルが入力されている最下行に移動します。

挿入、削除

CONT

CONT



カ-ソル行に1行空行を挿入します。自動計算が ON になっている場合は挿入場所によって時刻フィールド が表示されます。

カ-ソル行を1行削除します。削除された行より下の 行は1行繰り上がり、自動計算が ON になっている場 合は時刻の再計算が行われ表示されます。

WEEK,TIME フィールド再計算





します。手動入力された部分は変更されず、それ以降 の計算の基準になります。

手入力以外のタイムフィールドデータをすべて再計算

手入力された部分のデータも再計算の対象になります。 ただしAUXの後の手動入力データは対象外です。



WEEK,TIME フィールドにカーソルがあるとき,その 行から下の手動入力データまでを再計算します。

COPY

タイムテーブルで繰り返しパターンの場合はブロックのコピーができます。 まずコピー元の最初の行にカーソルを移動します。

TIME TABLE						
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD		
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON Mon Mon Mon	10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:00:00	V02-1 V03-1 V04-1 AUX1	2222		

CopySta=0001

	TIME TABLE					
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD		
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON MON MON	10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:00:00	V02–1 V03–1 V04–1 AUX1	MMM		
Copy	Sta=00	01 Copy	End=000)4		

CopySta=	0001	Copy	Er
----------	------	------	----

TIME TABLE						
No.	Week	TIME	VTR-B	MO		
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON MON MON MON MON MON	10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:00:00 10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:00:00	V02-1 V03-1 V04-1 AUX1 V02-1 V03-1 V03-1 AUX1			

CopyEnd=0004

CopySta=0001



タイムテーブル下に水色で CopySta 行が表示されま す。

次に、コピー元のEND行にカーソルを進めます。

የየ የ 금 SHIFT ここでを 押します。

タイムテーブル下に水色で CopyEnd 行が表示されます

次はコピー先にカーソルを進めます。

COPY が実行されます。

INS SHIFT 再度 ⇒ を押すと

同じ内容が COPY されます。 水色のコピー範囲を消すには



(注意) COPY は上書きで実行されます。

上書きしないときはあらかじめ挿入でスペースを空け ておきます。

自動計算機能について

タイムテーブル入力の手間と、ミスを防ぐために VTR 番組に関しては、VTR バンクデー タから番組の長さを計算し、次に実行する番組の開始時刻を自動的に表示する機能があり ます。

AUX 系(AUX1, AUX2, VTR の設定を AUX にしたもの)の入力の場合は、番組長さのデ ータがありませんので、次の開始時刻は必ず手入力することになります。

ただし、VTR 番組の場合も自動計算されたデータを手入力で編集すると、計算されたデー タとは違う時刻を入力することができます。ここで、自動計算された時刻より、手前の時 刻を入力したときは番組が早く終わるだけで問題ないのですが、その時刻より後の時刻を 設定したときは、送出する番組がなくなることになりますので、基本的にエラーとなりま す。エラーはピンク色で表示されます。

また、編集中(書き換え)の自動計算は次の行が空白か、自動計算されたデータの場合にのみ行われます。。次の行が手入力されたもの(黄色で表示)の場合、自動計算の対象からはずれます。これは、VTR 番組の場合でもその VTR 番組の長さに依存しないで、次の行の開始時刻を自由に設定できるように設けた機能です。

ー括して再計算する場合は、 WEEK,TIME フィールド再計算 を参照してください。



タイムテーブルエラーデータ表示

なにも入力されていないところにデータを入力していく場合、時刻自動計算が行われ、デ ータの整合性が保たれますが、インサート、デリート、コピーなどの操作を行うと時刻の 整合性や VTR 番号の整合性が失われることがあります。このとき、エラー部分はピンク色 で表示されます。

TIME TABLE

No. W	eek	TIME	VTR-B	MOD
0001 M 0002 M 0003 M 0004 M 0005 M 0006 M 0007 M 0008 M 0009 0010 0011	ON ON ON ON ON ON	10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:00:00 10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:00:00	V02-1 V01-1 AUX1 V02-1 V03-1 V04-1 AUX1	

1.VTR の整合性が失われる場合

デリート操作を行うと同じ VTR 番号が続けて表示さ れる場合があります。たとえば左図 2 行目 V01-1 か ら V01-2 への切り替えは物理的に不可能ですから、エ ラーとなります。この場合は違う VTR を指定する必 要があります。

2.時刻の整合性が失われる場合

デリート、インサート、コピー操作を行うと開始時刻 の整合性が失われることがあります。このとき、エラ ーの時刻データがピンクになります。この場合は手動 で正しいデータを入力するか、エラーの上にカーソル



ら次の手入力行までを再計算します。

タイムテーブル全体を再計算します。

左図の場合、3 行目 V02-1 の番組長さは3 0 分です。3 行目 V02-1 移行の行を削除したため次の AUX1 に切り 替わるまでに1時間30分になってしまいました。 V02-1 が終了した時点でタイムテーブル上1時間分の 送出するソースがなくなるためエラーとなります。

タイムテーブル入力、編集後はテーブル全体をスクロ ールして、エラー部分がないか確認をしてください。

TIME TABLE

No.	Week	TIME	VTR-B	MOD
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON MON MON MON MON MON	10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:30:00 10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:00:00	V02-1 V01-1 V02-1 AUX1 V02-1 V03-1 V04-1 AUX1	

タイムテーブル入力を終了する



- を押します。実効状態になにも影響を与えずにタイムテ ープル入力モードを終了します。
- スケジューラ実行はタイムテーブル入力から行いますの で、即実行するときは次の実行操作を行ってください。

実行

タイムテーブルの入力が終了したらスケジューラを実行することができます。

実行操作はタイムテーブル入力モードから行いますのでタイムテーブル入力モードに入りま す。

実行には次の2通りがあります。

タイムテーブルの1行目をタイマーセットしてその時刻からスケジューラを実行する。

TIME TABLE				
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	MON MON MON MON	10:00:00 10:30:00 11:00:00 12:00:00	V02-1 V03-1 V04-1 AUX1	M M M

タイムテーブル入力モードから CONT ひ ENTER 赤いカーソルはタイムテーブルか ら消え、1行目の時刻の25秒前 の時刻が NEXT-TIMER に表示さ れます。

この設定された時刻になると1行 目を実行します。



ここに1行目の時刻に対応した データが表示される

(注意)

この装置では次の VTR を実行するためのセットアップタイムを25秒としています。 実行25秒前に電源を入れ実行の準備をします。このため、NEXT-TIMER に表示さ れる時刻は25秒前となります。

セットアップに25秒必要ですから番組の最短時間は26秒となります。

タイムテーブルの任意の行からすぐに実行する。

タイムテーブル入力モードに入り実行したい行へカーソルを進めます。 例として2行目から実行します。カーソルを2行目に移動します。

TIME TABLE						
No	. Week	TIME	VTR-B	MOD	MON 09:15:20	ここで <mark>CONT</mark>
000	1 MON	10:00:00	V02-1	M	MON 09:59:35	ます
000	3 MON	11:00:00	V03-1 V04-1	M		NEXT-TIMER には3行目のセットアッ
000	4 MON 5	12:00:00	AUX1	М		プ時刻が表示されます。
000	6 7					タイムテーブル上部に切り替わり開始
000	8					までのダウンカウントタイマーが表示
001	0 1					されます。
000 000 001 001	8 9 0 1					までのダウンカウントタイマーが表示 されます。

TIME TABLE 23.5SEC CLOCK 2007-10-22 このダウンカウントタイマーが0になる TIME VTR-B MOD No. Week MON 09:15:20 と2行目に青いカーソルが表示されま MON 11:59:35 10:00:00 V02-1 0001 MON M 0002 10:30:00 V03-1 М MON す。これは実行行を意味します。 11:00:00 V04-1 12:00:00 AUX1 0003 MON M 0004 MON M 同時にAVセレクターも2行目の VTR3 0005 3行目のセット 0006 に切り替わります。 0007 アップ時刻 0008 0009 0010 0011 CLOCK TIME TABLE SELECTOR 2007-10-22 No. Week TIME VTR-B MOD MON 09:15:20 VTR ۲AUX -Г E) TIME 10:00:00 V02-1 10:30:00 V03-1 11:00:00 V04-1 MON Mon Mon 2 3 2 1 4 5 6 1 0001 M MON 11:59:35 M 0002 0003 POWER 0004 MON 12:00:00 AUX1 M 0005 PROGRAM 0006 0007 8000 MONITOR 0009 0010 このラインに切り替わる 0011

(ヒント)

この強制スタートを行うとスケジュールの実行を変更できます。タイムテーブルを変更 した場合など、現在実行中の行にカーソルをあわせて強制スタートすると、タイムテー ブルのその後の調整が行われます。実行中にタイムテーブルの変更をしたときにはこの 作業を行います。

(注意)

任意の行から実行する強制スタートはタイムテーブルに記述された時刻とは無関係に実 行を行います。その後の時間的なつながりは確認が必要です。

現在時刻の設定、変更

NORMAL MODEから



(CONTキーを押しながら6キーを押す意味)

TABLE	CLEAR	N RUN	RUN
1	2	3	ENTER
MON	TUE	WED	END
T/C BANK	PRINT	CLOCK	
4	5	6	
THU	FRI	SAT	
HOME 7 SUN	BTM 8	EMG 9 REPT	ŶŶ
CONT	SETUP 0 OFF	DEL J	INS P

rCLOCK ————
2007-10-22
SUN 09:30:35
SUN 09 59 35
00N 09:09:00

CLOCK の年のところに赤いカーソルが表れます。 カーソルの移動は左右の矢印キーで行います。

時計データの入力は数字キーで行います。







曜日は1-7キーで行います。



を押すと CLOCK 設定モードを終了し、 入力した値から時計がカウントを 始めます。

(ヒント)

この装置には内蔵時計を外部から校正する機能があります。装置背面パネルの校正端子 をショートする事で内部時計の30秒校正をすることができますので、外部校正時計が 接続されてないときには、この端子にスイッチを取り付けるだけで簡易校正が可能にな ります。この場合、時報と同時にスイッチを押すと内部の時計が0秒に校正されます。

送出装置から VTR を手動でコントロール



押すと、対応した VTR が頭出し動作をする



頭出し動作はステータスボックスに表示された VTR バンク番号に対応したタイムコード位置 となります。

頭出し動作は、VTR にテープを挿入することでも行われます。この時、SELECTOR 部分の 電源ボタンが ON になっていることが必要です。本体背面のACコンセントから電源をとら ない場合は特にこの点に注意が必要です。(DSR-20, DSR-45の場合は動作タイミングの関係 で本体背面のACコンセントに接続しない)



VTR & SWITCHING TIMING SET

	この項目では VTR の種類とそのタイミングを設定します。
EXII VTR & SWITCHING TIMEING SET POWER CONTROL SET AUDIO GAIN SET AUDIO MODE (MOD CONTROL) OPTION SETUP AVSW SELECT	▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶
EXT AVSW Input Assign EXT AVSW Output Assign AUX AVSW Input Assign AUX AVSW Output Assign	こで CONT - 小 もしくは CONT - F 🙀 を
	- 押すとデータの変更ができます。

— Tim	ing Set Up	
VTR1	XDCAM(HD) (9P)	2.3
VTR2	DSR-20/45 (232)	2. 3
VTR3	VTR (9P)	2.3
VTR4	UVW-1200 (232)	2.3
VTR5	AUX (NOT VTR)	1.0
VTR6	XDCAM(HD) (9P)	2. 3

設定できる VTR の種類は次の4種類です。

XDCAM <9P> (PDW-F70, PDW-F75, PDW-1500) DVCAM <RS-232C>(DSR-45, DSR-20) VTR <9P プロトコル> (BetaCAM,DVCAM 等) BetaCAM <RS-232C AUX(NOT VTR) VTR 入力をライブ入力として使うために 制御をオフにするモード。

<u> </u>	ing set up	
VTR1	XĎCAM (HD) (9P)	2.3
VTR2	DSR-20/45 (232)	2.3
VTR3	VTR (9P)	2.3
VTR4	UVW-1200 (232)	2.3
VTR5	AUX (NOT VTR)	1.0
VTR6	XDCAM(HD) (9P)	2.3

右側の数字は VTR 切り替えタイミングのためのもので PLAY を押 してから切り替えるまでの時間をプリセットします。変更は VTR 種類の変更と同じです。



POWER CONTROL SET

EXIT
VTR & SWITCHING TIMEING SET
POWER CONTROL SET
AUDIO GAIN SET
AUDIO MODE (MOD CONTROL)
OPTION SETUP
AVSW SELECT
EXT AVSW Input Assign
EXT AVSW Output Assign
AUX AVSW Input Assign
AUX AVSW Output Assign

SWB-06H/SWB0610H には機器の電源制御用コンセントはありま せん。オプションの電源コントロールユニットを使用することで 対応するようになっております。電源制御ユニットがない場合、 仮想的に電源 ON モードにする必要があるため、初期設定の項目 に電源制御「する / しない」を設定する項目があります。 外部にオプションの電源制御ユニットを接続した場合、制御する VTR が DSR-20,DSR-45 の場合は [Yes] に設定します。 DSR-20,DSR-45 はソフト的に電源制御を行います。フロントパネ

その他の場合は [No(-ON-)]に設定します。この場合は常時電源 オン状態になり、電源制御ボタンは点灯し、押しても消すことは できないモードになります。

ルの電源制御ボタンが操作できるようになります。

POW	ER CONTROL SET-
VTR1	Yes
VTR2	Yes
VTR3	No (-ON-)
VTR4	No (-ON-)
VTR5	No (-ON-)
VTR6	No (-ON-)
AUX1	No (-ON-)
AUX2	No (-ON-)
EMG	No (-ON-)



で入力を終了します。

LOGIX

AUDIO GAIN SET

EXIT
VTR & SWITCHING TIMEING SET
POWER CONTROL SET
AUDIO GAIN SET
AUDIO MODE (MOD CONTROL)
OPTION SETUP
AVSW SELECT
FXT AVSW Input Assign
FXT AVSW Output Assign
Ally AVSW Input Assign
Ally AVSW Output Assign
NON ATON OULPUL ASSIGN

この項目では各入力の GAIN を設定します。入力機器としては +4dB 系とラインなどの-10dB 系があります。これらの機器を 混在して使用できるように入力ごとにゲイン調整が 2dB ステッ プで最大+14dB まで設定できます。





データの変更が可能です。



RUN ENTER END

で入力を終了します。

AUDIO MODE SET (変調器制御モード設定)

EXIT
VTR & SWITCHING TIMEING SET
POWER CONTROL SET
AUDIO GAIN SET
AUDIO MODE (MOD CONTROL)
OPTION SETUP
AVSW SELECT
EXT AVSW Input Assign
EXT AVSW Output Assign
AUX AVSW Input Assign
AUX AVSW Output Assign

	MODE SET
VTR1	M: Mono
VTR2	S: Stereo
VTR3	2: Bi-Lin
VTR4	M: Mono
VTR5	M: Mono
VTR6	M: Mono
AUX1	M: Mono
AUX2	M: Mono

この項目では各入力のに対して、変調器を制御するモードを設 定します。設定内容は次の3種類です。

M: MONORAL	(モノラル)
S: STEREO	(ステレオ)
2: BiLingual	(音声多重)



データを変更するには目的のところにカーソルを移動します。

を押すとデータの変更が可能です

RUN ENTER END で入力を終了します。

LOGIX

OPTION SETUP (その他の動作モード設定)

EXIT
VTR & SWITCHING TIMEING SET
POWER CONTROL SET
AUDIO GAIN SET
AUDIO MODE (MOD CONTROL)
OPTION SETUP
AVSW SELECT
EXT AVSW Input Assign
EXT AVSW Output Assign
AllX AVSW Input Assign
Ally AVSW Output Assign
Rox Atom output Assign



データの変更が可能です。



で入力を終了します。

この項目ではその他の動作モードについて設定します。 設定項目は次の5種類です。

1. WEEK INPUT ON / OFF

タイムテーブル入力時 WEEK を入力するかどうかを設定します。 ON:入力する (1週間単位のスケジュール) OFF:入力しない (1日単位のスケジュール)

2. NO VIDEO JUMP NEXT / AUX2 / NOTHING

映像信号がなくなったとき(垂直同期信号)の動作を設定します。
 NEXT: タイムテーブルの次の行を実行する。
 AUX2: AUX2を実行する。(SWB-0610の場合はAUX10)
 NOTHING: なにもしない。(アラームのみ)

3. TAPE END TIMER / TC

VTR 番組の場合、番組の終わりから次へ移るタイミングをタイマーにするか、END タイムコードにするかを設定します。
 TIMER: 番組の終わり(次の番組のスタート)をタイマーで行う
 T/C : 番組の終わり(次の番組のスタート)を ENDT/C で行う

4. ERASE WEEKTIME Erase / NOT Erase

タイムテーブル入力時 VTR-B フィールドで AUX を入力したと き、次の行の WEEK,TIME フィールドにデータがあった場合それ を消すか、消さないかの設定

Erese: 消す

NOTErase: 消さない

OPTION SET UP			
WEEK INPUT	ON		
NO VDEO JUMP	AUX2		
TAPE END	TIMER		
ERASE WEEKTIME	Erese		
NEXT TIME CALC	ON		

WEEK INPUT	ON
NO VDEO JUMP	AUX2
TAPE END	TIMER
ERASE WEEKTIME	Erese
NEXT TIME CALC	ÔN I

ON
AUX2
TIMER
Erese
ON

ON
AUX2
TIMER
Erese
ON

OPTION SET U	c
WEEK INPUT	ON
NO VDEO JUMP	AUX2
TAPE END	TIMER
ERASE WEEKTIME	Erese
NEXT TIME CALC	ÓŇ

5. NEXT TIME CALC ON / OFF

タイムテーブル入力時、VTR を入力したとき番組のデュレー ションから次の行の開始時刻を自動計算して自動入力するかど うかの設定をする。

ON: 計算する。

OFF: 計算しない。(この場合でも後で計算させることはできます。)

AVSW SELECT

- SETTING
EXIT
VTR & SWITCHING TIMEING SET
POWER CONTROL SET
AUDIO GAIN SET
AUDIO MODE (MOD CONTROL)
OPTION SETUP
AVSW SELECT
EXT AVSW Input Assign
EXT AVSW Output Assign
AUX AVSW Input Assign
AUX AVSW Output Assign

SWB-06H/SWB-0610H では 2 系統の外部AVスイッチャーを制御 することができます。ここでは制御ポートに接続するスイッチャ ーのメーカーを設定します。



EXT-AVSW SELECT			
EXT	AVSW	PORT	Imagenics
AUX	AVSW	PORT	FÖR. A
_			

データの変更が可能です。

EXT AVSW PORT: EXT AVSW コントロールポートに接続する スイッチャーを指定します。

AUX AVSW PORT: AUX コントロールポートに接続する スイッチャーを指定します。

 Imagenics: イメージニクス社の AV スイッチャー

 FOR.A:
 朋栄社の A V スイッチャー

 No:
 スイッチャーを接続しない。



で入力を終了します。

LOGIX

EXT AVSW Input Assign



EXT-	AVSW IN Assign-
VTR1	IN-1
VTR2	IN-2
VTR3	IN-3
VTR4	IN-8
VTR5	IN-8
VTR6	IN-8
AUX1	IN-5
AUX2	OFF

ここでは SWB-06H/SWB-0610H の全面パネルのプログラム選択、 モニター選択に対応して外部スイッチャーを切り替えるためのア サインを設定します。設定項目は SWB-06H/SWB-0610H の入力ポ ジションに対する外部スイッチャーの入力ポジションを設定しま す。



データの変更が可能です。

IN-1 ~ IN-*:外部スイッチャーの対応する入力番号を指定します。OFF: 外部スイッチャーのオフポジションに切り替えます。

<mark>ENTER</mark> で入力を終了します。

EXT AVSW Input Assign

VIR & SWITCHING TIMEING SET
POWER CONTROL SET
AUDIO GAIN SEI
AUDIO MODE (MOD CONTROL)
OPTION SETUP
AVSW SELECT
EXT AVSW Input Assign
EXT AVSW Output Assign
AllX AVSW Input Assign
Ally AVSW Output Assign
AUX AVSII UULPUL ASSIGI
EXT-AVSW OUT-ch SET-
Program OutCH OUT-1
Monitor OutCH OUT_2

ここでは SWB-06H/SWB-0610H の全面パネルのプログラム選択、 モニター選択に対応して外部スイッチャーを切り替えるためのア サインを設定します。設定項目は SWB-06H/SWB-0610H の出力ポ ジションに対する外部スイッチャーの出力ポジションを設定しま す。 ŵ Ŷ データを変更するには で目的のところにカー ûû ŶÛ ソルを移動します。 そこで CONT CONT はを押すと データの変更が可能です。 Program OutCH:外部スイッチャーの対応する出力番号を指定し

ます。

Monitor OutCH: 外部スイッチャーの対応する出力番号を指定します。



で入力を終了します。

AUX AVSW Input Assign

EXT AVSW Input Assign と同じです。

AUX AVSW Output Assign

EXT AVSW Output Assign と同じです。

データクリア(CLEAR)

NORMAL MODEから



(CONTキーを押しながら2キーを押す意味)





左図の CLEAR SELECT 画面が開きます。 データクリア項目は タイムテーブルデータすべて VTR-BANK (VTR-BANK データ) HISTORY (実行履歴データ) HISTORY (実行履歴データ) NOVIDEO(NOVIDEO 履歴データ))EMG (緊急入力端子に入力された履歴データ) ALL MEM CLEAR (内部のメモリをすべてクリアします。))



を押します。

LOGIX

緊急入力端子

緊急入力のビデオ入力端子に映像が入力されたとき、その入力に自動的に切り替えることができ ます。この切り替えは、設定で ON/OFF できます。

NORMAL MODEから を押します。 £ CONT 9 そうするとEMG表示ボックスの中で EMG 10:15:23 DISABLE と ENABLE が交互に表示されます。 DISABLE ENABLE:緊急入力に映像が入ったとき、その映像音声がプログ ラムアウト、モニターアウトから出力されます。 DISABLE:緊急入力端子に映像が入ってきても切り替わりませ 10:15:23 h. ENABLE EMGボックスの上段には映像が入ってきたときの時刻が表示さ れます。

その他の機能

VTRにテープを挿入すると自動的に頭出しを行う。

VTRの電源を入れテープを挿入すると自動的に頭出しを行います。 UVW-1200は電源を入れて5秒以上たってからテープを入れて下さい 早めに入れると頭出しをしません。その場合は手動で頭出しして下さい。

(注)テープには必ずタイムコードが入ったものを使用してください。テープを 挿入したところにタイムコードがなければ頭出しはできません。 タイムコードは番組の始めと終わりに少なくとも30秒以上の記録が必要です。 できるならばテープの最初から最後まで記録することをお勧めします。また、 タイムコードはテープ上で連続したものでなければ使用できません。不連続部 分にまたがって使用した場合、動作がおかしくなることがあります。

時計校正

リヤパネルの時計校正端子(RCA-PIN)をショートすると30秒校正を行います。 ここに校正用時計を接続します。

アラーム出力

自動送出実行中に出力の映像がなくなった場合、アラーム音を発生します。このとき アラーム出力端子に接点信号を出力します。

機器の接続

SWB-06H



映像入力(VTR1-AUX2) コンポジットビデオ (BNC) 音声入力 CH1(VTR1-AUX2) +4dB 600 平衡(XLR3-32) 音声入力 CH2(VTR1-AUX2) +4dB 600 平衡(XLR3-32) 映像出力(PROGRAM) コンポジットビデオ (BNC) 音声出力 CH1(PROGRAM) +4dB 600 平衡(XLR3-31) 音声出力 CH2(PROGRAM) +4dB 600 平衡(XLR3-31) 映像出力(MONITOR) コンポジットビデオ (BNC) 音声出力 CH1(MONITOR) +4dB 600 平衡(XLR3-31) 音声出力 CH2(MONITOR) +4dB 600 平衡(XLR3-31) VTR-REMOTE(VTR1-VTR6) RS-232C & RS-422A (HDsub15F) 外部 AV スイッチャー制御 RS-232C (Dsub9M) 予備コネクタ RS-232C (Dsub9M) リモート PC RS-232C (Dsub9M) 外部から本装置を制御、モニターする端子 変調器音声多重制御 接点 (DIN5F) モノラル、ステレオ、2重音声の制御用 アラーム出力 接点 (DIN4F) エラー時に接点出力 外部電源制御ユニット制御出力 RS-232C(Dsub9M) *ユニットは開発中 時計校正入力端子 接点 (RCA-PIN) この端子をショートすると内部時計を 30 秒補正します。 タイムテーブルモニター用 S ビデオ出力出力 (S-VIDEO Mini DIN 4F) FUSE (1A) 電源入力 (AC100V)

SWB-0610H

10 \bigcirc 0 (12) (14) (11) (13) (15) (16)(18)1)- \bigcirc O **(2**) 3 \bigcirc 0 (\cdot, \cdot) (\cdot, \cdot) O 0 \bigcirc (4) (5) (7) (8) (9) 6 映像入力(VTR1-AUX2) コンポジットビデオ (BNC) 音声入力 CH1(VTR1-AUX2) +4dB 600 平衡(XLR3-32) 音声入力 CH2(VTR1-AUX2) +4dB 600 平衡(XLR3-32) 映像出力(PROGRAM) コンポジットビデオ (BNC) 音声出力 CH1(PROGRAM) +4dB 600 平衡(XLR3-31) 音声出力 CH2(PROGRAM) +4dB 600 平衡(XLR3-31) 映像出力(MONITOR) コンポジットビデオ (BNC) 音声出力 CH1(MONITOR) +4dB 600 平衡(XLR3-31) 音声出力 CH2(MONITOR) +4dB 600 平衡(XLR3-31) VTR-REMOTE(VTR1-VTR6) RS-232C & RS-422A (HDsub15F) 外部 AV スイッチャー制御 RS-232C (Dsub9M) 予備コネクタ RS-232C (Dsub9M) リモート PC RS-232C (Dsub9M) 外部から本装置を制御、モニターする端子 変調器音声多重制御 接点 (DIN5F) モノラル、ステレオ、2重音声の制御用 アラーム出力 接点 (DIN4F) エラー時に接点出力 外部電源制御ユニット制御出力 RS-232C(Dsub9M) *ユニットは開発中 時計校正入力端子 接点 (RCA-PIN) この端子をショートすると内部時計を 30 秒補正します。 タイムテーブルモニター用Sビデオ出力出力 (S-VIDEO Mini DIN 4F) FUSE (1A) 電源入力 (AC100V)

注意事項

頭出しエラーについて

VTRにテープを挿入すると自動的に頭出しを行います。また、番組送出が終わったVTRは次の送出に備えて頭出しを行います。手動でも頭出しが可能です。

頭出しはタイムコードを基準に行いますから、指定したタイムコードがテープに見 つからない場合はエラーとなります。エラーの場合は該当VTRのタイムコードス テータス表示が赤色に変わりアラームがなります。この場合はテープと、設定タイ ムコードが正しいか確認をしてください。エラーの場合頭出しを3回リトライし、 その後はエラー状態を維持します。 エラーの原因を修正したら、手動頭出しを行うことでエラーは消えます。もしくは、

エラーの原因を修正したら、手動顕出しを行うことでエラーは消えます。もしくは、 テープを取り出し再度挿入すると頭出しを行います。

タイムコードはテープの始めから終わりまで連続して記録してください。 プリロール、ポストロールのためタイムコードは番組より前後30秒以上必要です。

強制実行(NRUN)での注意

任意の行から強制実行(NRUN)をする場合は次の点に注意してください。VTR-B ANKを1本のテープに対して複数指定しているときはN-RUNをした後次の頭出し 位置を確認する必要があります。タイムテーブルを順番に実行している時は、つぎ のVTRの頭出しは正しく行われ、待機状態になっているのですが、任意の行から 実行するときはその後に実行されるものが頭出しができているとは限りません。N -RUNをした後、その後に実行されるすべてのVTRの電源を入れ



タイムコードについて

テープには必ずタイムコードが入ったものを使用してください。テープを挿入したところにタイムコードがなければ頭出しはできません。

タイムコードは番組の始めと終わりに少なくとも30秒以上の記録が必要です。できる ならばテープの最初から最後まで記録することをお勧めします。また、タイムコードは テープ上で連続したものでなければ使用できません。不連続部分にまたがって使用した 場合、動作がおかしくなることがあります。

タイムテーブル参考例

スケジュール実行はタイムテーブルの記述の仕方、WEEK データを使うか使わないか、それと VTR の番組の終わりを TIMER にするか、T/C に設定するかで変わります。

WEEK について

WEEK を使うときは1週間単位のプログラムを組むことができます。たとえば月曜から金曜 までと土曜、日曜のパターンが違う場合などは WEEK を入力するようにして週間単位のプロ グラムを組みます。また、毎日同じパターンの時は WEEK を使わないように設定すると入力 の手間が省けます。

入力は1週間分だけとか、1日分だけでなく、1200イベント(行)記述できますので1 週間分入力した後にその次の週を入力すれば、順次実行していきます。WEEK を使用しない モードも同じです。

同じパターンの入力をするときはコピー機能を使うと便利です。まず1日分を入力して、そ の範囲をコピーし、開始時刻データを必要な部分だけ編集すると、次の日のスケジュールが 完成します。

TIMER モードと T/C モード (初期設定-OPTION - TAPEEND) について

T/C に設定すると、VTR の場合は番組の終わりのタイムコードで次の番組に切り替わるよう に動作します。タイムテーブルでは WEEK,TIME フィールドが緑に表示されます。この緑の 部分の時刻はタイマーにはセットされません。VTR から次への切り替えは T/C となります。 ただし、AUX 系は番組の長さのデータがありませんので、AUX 系の次の行には必ず、時刻 入力が必要となります。

この、TIMER モードか、T/C モードかで、同じタイムテーブルでも動作が違ってきます。基本的には TIMER モードで使用します。

TIMER モードと T/C モードの特徴について

- TIMER モード:実時間に沿ってスケジュールを組むので実時間を基準にした送出に適し ます。ただし最小分解能は1秒です。タイムテーブル入力時に自動計算 された時間は緑色に表示されますが、タイムテーブル入力を終了すると すべて黄色に戻ります。これはすべてのイベントがタイマーによりスタ ートすることを意味します。指定されたタイマー時刻より早く VTR の 終了番地に達したときは一時的に AUX2 に切り替わります。
- T/C モード: タイムテーブルのイベントリストに記述された VTR の次のイベントは VTR のエンドタイムコードでスタートします。AUX 系の次のイベント はタイマースタートになります。タイムテーブルで自動計算された時間 は緑色で表示されます。この時間は、単なる切り替わりの目安で、実行 にはなにも影響しません。黄色の時間のみがタイマー起動の時間になり ます。次の実行時間よりも早く VTR のエンドタイムコードに達した場 合は次のイベントに進みます。また、DF/NDF の違いによる番組送出誤 差がありません。NDF で記録されたテープを TIMER モード使用すると 番組の最後が切れることがあります

LOGIX

タイムテーブルの記述の仕方による動作の違い

タイマーモードの場合

1. タイムテーブルの VTR-B フィールドを空白にするか END にしたとき

TIME TABLE					
Ν	lo.	Week	TIME	VTR-B	MOD
)01)02)03)04)05)06)07)08)09)10	SUN SUN SUN SUN SUN	10:00:00 10:30:00 11:00:00 11:20:00 11:40:00 11:55:00	V01-1 V02-2 V03-1 V04-5 V01-2	X X X X

TIME TABLE

No.	Week	TIME	VTR-B	MOD
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	SUN SUN SUN SUN SUN	10:00:00 10:30:00 11:00:00 11:20:00 11:40:00 11:55:00	V01-1 V02-2 V03-1 V04-5 AUX1	33333

6 行目の 11:35:00 になると1 行目のタイマーをセットして、待機します。このとき実行行表示の青いカー ソルはタイムテーブルから消えます。 このタイムテーブルの場合5 行目が VTR ですから、 11:35:00 になった時点で番組も終わりになります。 スイッチャーは AUX2(SWB-12 の場合は AUX4)に 切り替わります。

左図のように 5 行目が AUX の場合は 11:35:00 になっても 1 行目の時刻になるまでそのまま切り替わりません。

2.タイムテーブルの VTR-B フィールドを REPT にしたとき

TIME TABLE				
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	SUN SUN SUN SUN SUN	10:00:00 10:30:00 11:00:00 11:20:00 11:40:00 11:55:00	V01-1 V02-2 V03-1 V04-5 V01-2 REPT	MMMM

TIME TABLE				
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	SUN SUN SUN SUN SUN	10:00:00 10:30:00 11:00:00 11:20:00 11:40:00 11:55:00	V01-1 V02-2 V03-1 V04-5 AUX1 REPT	M M M M

6 行目の 11:35:00 になると1 行目が実行を始めます。 1 行目のタイマーは無視されます。1 行目に実行が移 ると2 行目のタイマーをセットます。この場合、2 行 目のタイマー時刻になる前に V01-1 の番組は終了し ますからその時点でスイッチャーは AUX2(SWB-12 の場合は AUX4)に切り替わります。

このとき実行行表示の青いカーソルは1行目に表示されたままになります。2行目のタイマー時刻ななるまでこのまま待機します。すから、

左図のように5行目がAUXの場合も動作は同じです。

T/C モードの場合

1. タイムテーブルの VTR-B フィールドを空白にするか END にしたとき

TIME TABLE				
No.	Week	TIME	VTR-B	MOD
0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011	SUN Sun Sun Sun Sun	10:00:00 10:30:00 11:00:00 11:20:00 11:40:00 11:55:00	V01-1 V02-2 V03-1 V04-5 V01-2	MMMM

TIME TABLE

TIME

10:00:00

11:00:00

11:20:00

11:55:00

:30:0

VTR-B MOD

M

M

M

М

M

V01-1

V02-2

V03-1

V04-5

AUX1

Week

SUN

SUN

SUM

No.

0001

0002

0003

0004

0005

0006 SUN

6 行目の V01-2 の番組終了タイムコードになると1 行目のタイマーをセットして、待機します。このとき 実行行表示の青いカーソルはタイムテーブルから消え ます。

このタイムテーブルの場合 5 行目が VTR ですから、 11:35:00 になった時点で番組も終わりとなり、スイ ッチャーは AUX2 (SWB-12 の場合は AUX4)に切り 替わります。

左図のように 5 行目が AUX の場合は 11:35:00 になっ ても 1 行目の時刻になるまでそのまま切り替わりませ ん。

2.タイムテーブルの VTR-B フィールドを REPT にしたとき



6行目の V01-2 の番組終了タイムコードになると1 行目が実行を始めます。1行目のタイマーは無視され ます。この後は6行までを永遠に繰り返します。

左図のように5行目が AUX の場合は6行目の時刻に なったら1行目に制御が移り再び、5行目まで実行し ます。この時点で6行目のタイマー時刻になるまで AUX1の状態で待機します。 通常使用しているスケジュールパターンとは別に、ある特別の日だけ別パターンで動作させたい場合、次のようにします。



通常使用しているスケジュールの下に データを入力します。左図を例にする と、通常は1から6行を実行していま すが、特別スケジュールの7-11行 を実行するときは7行目を強制実行し ます。

そして、特別スケジュールの最後まで 実行すると通常スケジュールの1行目 に戻ります。

特別スケジュールはいくつ記述しても かまいません。